

健康社会研究センター ニューズレター 第37号

2014. 11. 04 発行

◆ 目次 ◆

- 1 NEWS
- 2 第2回保険者向け研究会が無事終了しました
- 3 受賞のお知らせ
- 4 主な研究成果発表
- 5 研究費採択のお知らせ
- 6 学会・シンポジウム・研究会等のお知らせ

1 NEWS

「健康とくらしの調査」報告書が完成しました

<JAGES 参加各自治体に最終報告書を送付しました>

10月28日をもちましてJAGES参加自治体への最終報告書を完成し、各自治体に送付しました。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

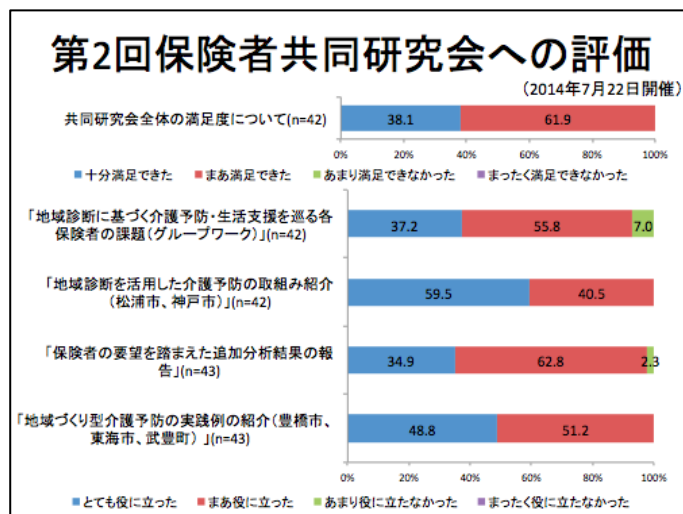
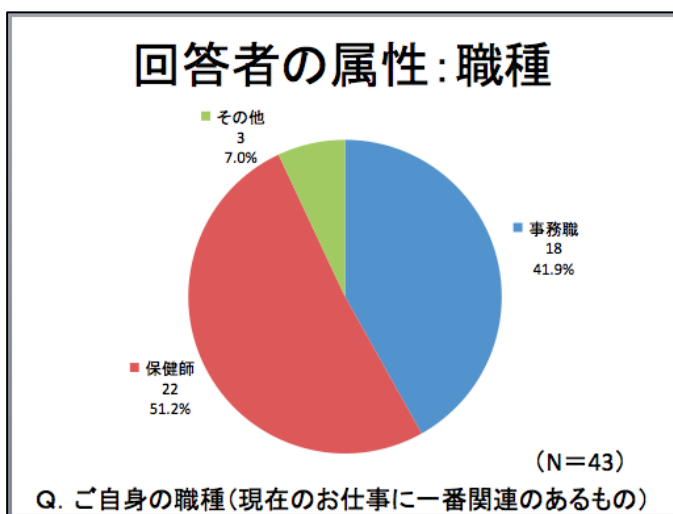
<200自治体ベンチマーク最終報告書が完成しました>

200自治体ベンチマーク用の最終報告書(ver.1.0)が11月2日にHP上に公開されました。こちらもご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。

2. 第2回保険者向け研究会が無事終了しました

7月22日(火)、日本福祉大学名古屋キャンパスにてJAGES2013調査にご協力いただいた自治体に、第2回の結果報告会を行いました。第1回目と同様、23保険者から48名の多くの方々にご出席いただきました。第2回は第1回の内容をふまえ、「見える化ツール」を用いて各保険者内で地域ごとの課題を持ち寄っていただくところから始まりました。その課題解決の一端として研究者の分析内容をご紹介するとともに、既に「地域診断書」等の「見える化ツール」を用いて地域介入を行っている自治体の活動をご紹介いただきました。

伊藤美智予先生がまとめてくださったアンケート結果は以下です。



<参加者の感想より>

- ・ 普段現場で仕事をしていると、どうしても現実や課題にばかり視点が向いてしまったり、視野がせばまってしまうことが多いので、今回参加させて頂き、色々なひらめきや発見を与えてもらいました。地域性もあるとは思いますが、どのようにすれば住民主体や住民との共同文化を創っていけるのか考えていきたいです。
- ・ 各地域におけるそれぞれの課題に対して、頂いたデータをもとに対策をたてていくというイメージができました。これから具体的な計画に向けて考えていきたいと思います。
- ・ 進化する JAGES を実感しました。プレスリリースのように、ストーリーのある資料は地域の人に伝えやすいです。愛用しています。
- ・ 他市町の事例を聞いて参考になりました。GW で本町の特徴を知る機会にもなりました。
- ・ 調査結果から地域の課題を分析することは、日常の業務の中でなかなか取り組めない状況でした。調査結果の分析や、活用、先行事例を学ぶ事ができ満足しています。
- ・ 事例紹介が多くあり、各市の具体的な取り組みを見せてもらって参考になった。また他保険者との GW での意見交換も勉強になった。
- ・ 紹介のあった市町の取り組みがとても参考になりました。武豊サロンが、認定率を下げるのに効果がありそうで、今後の取り組み継続への意欲につながると思います。
- ・ フードデザートマップは新鮮だった。
- ・ 1つ1つの事例について、もう少し詳しく知るために、時間を設けて欲しかった
- ・ 包括職員と共有し、データの背景をつかんだ上で参加できるとよかった。

おしなべて高い評価をいただきましたが、限られた時間の中でどのような内容を盛り込むとより有効な研究会となるのか、今後も検討が必要です。

3 受賞のお知らせ

- ・ 浜松医科大学の尾島俊之先生が WPA Section on Epidemiology and Public Health - 2014 Meeting にてベストポスター賞を受賞されました。

Toshiyuki Ojima, Masayo Kojima, Toru Tsuboya, Naoki Kondo, Eisaku Okada., Mieko Nakamura, Masashige Saito, Jun Aida, Katsunori Kondo, Dr. group JAGES:Prevalence and health outcomes of inappropriate drinking among older Japanese. WPA Section on Epidemiology and Public Health - 2014 Meeting.16-18 October 2014 Nara,Japan.

- ・ 中部労災病院の杉山統哉さんの論文が総合リハビリテーション賞を受賞されました。総合リハビリテーション誌に2013年に掲載された原著論文で最も優秀だと認められた論文に送られる賞です。

杉山統哉, 近藤克則, 松本大輔, 田中宏太佳:急性期脳卒中患者の歩行自立度と社会的サポートの関連—リハビリテーション患者データバンクの多施設登録データを用いた研究—. 総合リハビリテーション 41(2):161-169, 2013

- ・ JAGES2013メンバーの東北大学大学院生、松山祐輔さん、伊藤奏さんが国際疫学会にて Student Award を受賞されました
Matsuyama Y, Aida J, Hase A, Sato Y, Tsuboya T, Ito K, Koyama S, and Osaka K. Social relationships and mental health among the victims of The Great East Japan Earthquake; A multilevel longitudinal study. 2014. IEA 20th World Congress of Epidemiology. No. 3231. Anchorage, United States of America. August 2014.

ITO K, AIDA J, CABLE N, YAMAMOTO T, SUZUKI K, KONDO K, and OSAKA K. International Comparative Research of Oral Health Inequality between Japan and England. The 20th IEA World Congress of Epidemiology to be held in Anchorage, Alaska, August 2014.

4 主な研究成果発表

<著書>

- ① 近藤克則分担執筆「こんなときどうする？リハビリテーション臨床現場のモヤモヤ解決！」(編著: 上田正博)、医学書院、2014.06

<論文等>

- ① 花里真道, 近藤克則: 「健康なまちづくり」とマネジメント・ツール-国内外の動向と JAGESHEART. 都市政策, Vol. 157 p.13-24, 2014
- ② Tatsuo Yamamoto, Katsunori Kondo, Jun Aida, Shinya Fuchida, and Yukio Hirata : Association between the longest job and oral health: Japan Gerontological Evaluation Study project cross-sectional study. BMC Oral Health. [査読つき]
- ③ Saito M, Kondo K, Kondo N, Abe A, Ojima T, et al. (2014) Relative Deprivation, Poverty, and Subjective Health: JAGES Cross-Sectional Study. PLoS ONE 9(10): e111169. doi:10.1371/journal.pone.0111169
- ④ 林尊弘, 近藤克則, 山田実, 松本大輔: 転倒者が少ない地域はあるかー地域間格差と関連要因の検討ー: JAGES プロジェクト. 厚生の指標 61(7):1-7, 2014. 7
- ⑤ 竹田徳則, 近藤克則, 鈴木佳代: 地域在住高齢者のうつの程度別による趣味活動の特徴ーうつ予防・支援の手がかりとして. 作業療法 33:337-346, 2014. 7

<学会発表>

- ① Toshiyuki Ojima, Masayo Kojima, Toru Tsuboya, Naoki Kondo, Eisaku Okada., Mieko Nakamura, Masashige Saito, Jun Aida, Katsunori Kondo, Dr. group JAGES: Prevalence and health outcomes of inappropriate drinking among older Japanese. WPA Section on Epidemiology and Public Health - 2014 Meeting. 16-18 October 2014 Nara, Japan.
- ② Hikichi, H., Aida, J., Kondo, K., Kawachi, I., & JAGES Group: Does social capital help prevent post-disaster psychiatric disorders after a natural disaster? Results of a JAGES project longitudinal study in Iwanuma city before and after the Tohoku earthquake. 2014 Meeting of WPA Section on Epidemiology and Public Health - 2014 Meeting. 18 October 2014 Nara, Japan.
- ③ Masataka Nakagawa, Kayo Suzuki, and Katsunori Kondo. "Socioeconomic Inequality, Neighbourhood Cohesion, and Health Status among the Urban Elderly in Japan: A Multilevel Analysis." EAPS Health, Morbidity and Mortality Workshop, 2014.9.15-17, London.
- ④ 伊藤美智予、近藤克則: 認知症ケアマネジメントの質評価指標開発の試みーアウトカム指標に関連するプロセス指標の検証. 第52回日本医療・病院管理学会、2014年9月13~14日、東京
- ⑤ 尾島俊之、竹田徳則、平井寛、田淵貴大、小嶋雅代、斉藤雅茂、近藤尚己、相田潤、仲村秀子、岡田栄作、中村美詠子、近藤克則、JAGES グループ: 喫煙による認知症のリスク: JAGESプロジェクト. 第50回日本循環器病予防学会学術集会、2014年7月20~21日、京都市。(日本循環器病予防学会誌 2014; 49(2): 169.)
- ⑥ 尾島 俊之、林 尊弘、岡田 栄作、中村 美詠子、小嶋 雅代、伊藤 美智予、斉藤 雅茂、近藤 克則、JAGEグループ: 地域資源を活用した健康づくりと転倒リスク. 第60回東海公衆衛生学会学術大会、2014年7月19日、名古屋市。(東海公衆衛生雑誌 2(1):64, 2014.)
- ⑦ Matsuyama Y, Aida J, Hase A, Sato Y, Tsuboya T, Ito K, Koyama S, and Osaka K. Social relationships and mental health among the victims of The Great East Japan Earthquake; A multilevel longitudinal study. 2014. IEA 20th World Congress of Epidemiology. No. 3231. Anchorage, United States of America. August 2014.
- ⑧ ITO K, AIDA J, CABLE N, YAMAMOTO T, SUZUKI K, KONDO K, and OSAKA K. International Comparative Research of Oral Health Inequality between Japan and England. The 20th IEA World Congress of Epidemiology to be held in Anchorage, Alaska, August 2014.
- ⑨ Hikichi, H., Kondo, K., Suzuki, K., & Okada, E.: Does participation in community health salons help shrink health disparity? Results of a 5-year-long intervention study by JAGES project in Taketoyo town, Japan. The 20th IEA World Congress of Epidemiology, Dena'ina Center, Anchorage, Alaska, U.S.A., 2014年8月17日.

- ⑩ 岡田栄作、近藤克則、尾島俊之、宮國康弘、中村廣隆、JAGES グループ:日常生活圏域ニーズ調査データを活用した地域診断指標 36 指標の開発:JAGES プロジェクト. 第 55 回日本社会医学会総会. 2014 年 7 月 12~13 日. 名古屋市(社会医学研究; 第 55 回日本社会医学会総会講演集 98-99, 2014)
- ⑪ 細川陸也、伊藤美智予、近藤克則、宮國康弘、尾島俊之、後藤文枝、阿部吉晋、越千明:「健康交流の家」開設による健康増進効果の検証. 第 55 回日本社会医学会総会. 2014 年 7 月 12~13 日. 名古屋市(社会医学研究; 第 55 回日本社会医学会総会講演集 83-84, 2014)

<講演・シンポジウム等>

- ① 近藤克則:ソーシャル・キャピタルと健康ーコミュニティ健康心理学の課題ー. 第 27 回日本健康心理学会シンポジウム 沖縄から考える健康心理学(ソーシャル・キャピタルと地域の力) 沖縄健康行動実践モデル実証事業. 2014.11.1, 沖縄科学技術大学院大学
- ② 近藤克則:高齢者の社会参加及び社会貢献. 第 12 回 ASEAN・日本社会保障ハイレベル会合, 2014.10.23, 品川プリンスホテル
- ③ 日本福祉大学・延世大学共催 第 9 回日韓定期シンポジウム に近藤克則先生が参加されました. 2014.10.18, 延世大学 原州キャンパス(韓国)
- ④ Katsunori Kondo : Japanese psychiatric epidemiology: WMH Japanese results. Symposium1 - 2014 Meeting, 16-18 October 2014 Nara, Japan.
- ⑤ 近藤克則:超高齢社会におけるリハビリテーションの課題. 第 7 回関東甲信越地域協議会リハビリテーション交流集会, 2014.10.4, クロスウェーブ幕張

<雑誌等でのコメント>

- ① 保健師ジャーナル 2014 年 06 月号(通常号)(Vol.70 No.6)「介護予防運動教室とウォーキング教室を契機としたソーシャル・キャピタル形成」に、近藤克則先生のコメントが掲載されました。

<その他>

- ① 日経新聞に竹田徳則先生の実践されている、大学と地域の介護予防への取り組みが紹介されました。「介護予防 大学が一役 高齢者を元気に」10 月 20 日付
- ② 9 月 13 日 NHK 週刊ニュースの深読みコーナーに近藤克則先生が出演されました。テーマは「健康寿命」。詳しくは <http://www1.nhk.or.jp/fukayomi/maru/2014/140913.html> へ。
- ③ 健康づくり No.438、2014.9(健康・体力づくり事業財団発行)の特集「健康格差の縮小をめざす」に近藤克則先生へのインタビュー記事が掲載されました。
- ④ 8 月 16 日テレビ朝日「ニュースなぜ太郎」で、週刊朝日「知れば防げる認知症7大リスク」内でご紹介されている、歯と認知症の縦断研究(山本龍生先生; 神奈川歯科大学)の結果が紹介されました。
- ⑤ 近藤克則先生がコメントした「介護力で機能回復 脳卒中患者調査判明」の記事が共同通信より配信され、各地方紙に掲載されました。(2014 年 7 月下旬~8 月上旬)
- ⑥ 8 月 5 日の NHK ニュースウェブで「スポーツや趣味の会などに参加するほど要介護リスクは低い」とする金森先生の論文が紹介されました。
- ⑦ 週刊朝日 2014.8.8「脳卒中リハビリのいい病院」に近藤克則先生のコメントが掲載されました。
- ⑧ 国土交通省「健康・医療・福祉のまちづくりの推進ガイドライン(26 年 8 月 1 日) <http://www.mlit.go.jp/common/001049457.pdf> に JAGES の業績が紹介されました。
- ⑨ 7 月 29 日、東京大学で報道陣向けの記者会見を行いました。
金森先生の「参加している会の種類が多いほど要介護リスクが低下する」
高木先生の「役割を担って社会参加している男性ではうつ病のリスクは7分の1」
をメインに JAGES の活動を紹介しました。
- ⑩ 週刊保健衛生ニュースにて、近藤克則先生の特別講演「健康格差に向き合う一期待される公衆衛生看護の力」が紹介されました。(2014 年 6 月 20 日、愛知県名古屋市. 平成 26 年度全国保健師交流集会)

- ⑪ WHO ウェブサイトの JAGES HEART 関連の項目が更新され、jages.net や介護予防サポートサイトがリンクされました。
以下 WHO ウェブサイトから閲覧できます。
[英語:http://www.who.int/kobe_centre/ageing/j_ages_heart/en/](http://www.who.int/kobe_centre/ageing/j_ages_heart/en/)
[日本語:http://www.who.int/kobe_centre/ageing/j_ages_heart/ja/](http://www.who.int/kobe_centre/ageing/j_ages_heart/ja/)
- ⑫ 長寿科学振興財団 Aging&Health No.70 に対談「地域との関わりが高齢者の健康保持につながる」が掲載されました。
- ⑬ 厚労省の介護予防ホームページに武豊介入研究とこれまでの分析結果が「これからの介護予防」資料に掲載されました。
http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/yobou/index.html

5 研究費採択のお知らせ

- ① 研究代表者:宮國康弘(千葉大学) 2014 年度ジェロントロジー研究助成
研究課題:「ソーシャル・キャピタルの介護予防効果に関する研究ー地域レベルのソーシャル・キャピタルは、個人レベルの健康に関連があるのかー」

6 学会・シンポジウム・研究会等のお知らせ

<JAGES 関連>

イチロー・カワチ先生来日予定 ※下記すべてご参加には登録が必要です。

- ・ 11 月 29 日(土) 10:00~14:30 「健康と社会セミナー」 場所:AP 東京八重洲通り
14:45~17:30 「健康の社会的決定要因(SDH)ワークショップ(招待制)」
場所:AP 東京八重洲通り
- ・ 11 月 30 日(日) 9:00~17:40 「日本老年学的評価研究プロジェクト(JAGES)ワークショップ」
場所:AP 東京八重洲通り
- ・ 12 月 1 日(月) 10:30~16:40 「カワチ先生来日 JAGES 研究会」
場所:千葉大学亥鼻キャンパス 亥鼻同窓会館

研究会今後の予定 ※変更になることがあります。

- ・ 12 月 20 日(土) 日本福祉大学 名古屋キャンパス
- ・ 1 月 11 日(日) 東京大学 本郷キャンパス
- ・ 2 月 14 日(土) 日本福祉大学名古屋キャンパス
- ・ 3 月 15 日(日) 東京大学 本郷キャンパス

ニューズレター37号の発行にご協力いただきましてありがとうございました。

今後とも当センターへのご支援をよろしくお願い申し上げます。

メーリングリストの配信の停止をご希望の方・ご意見・お問い合わせ・情報提供はこちら<p-tanaka*n-fukushi.ac.jp
(田中)>までお知らせください(ご連絡の際は*を@に変更して下さい)。

ニューズレターのバックナンバーはこちら<[バックナンバー](#)>

発行元:健康社会研究センター <http://cws.umin.jp/>

このメールは、国際シンポジウム「健康の社会的決定要因ー社会疫学の可能性」(2009年3月14日開催)及び、「『健康の社会的決定要因』を巡る国際的動向」(2011年12月23日開催)、国際ワークショップ「社会疫学と老年学における国際共同研究の可能性」(2012年1月8日開催)にてメール登録をご希望いただいた方及びメーリングリストweb登録をいただいた方に配信しています。